

平成18年度

第7回名古屋高速道路公社入札監視委員会審議概要

開催日及び場所	平成18年11月29日(水) 名古屋高速道路公社本社会議室	
委員	辻巻 真(委員長 弁護士)・足立 政治(委員長代理 公認会計士)・伊藤 義人(大学教授)	
審議対象期間	平成18年4月1日～平成18年9月30日	
抽出案件〔工事〕	総件数 2件	県道高速名古屋新宝線東海IC(西)工区下部工事及び一般国道247号橋梁整備工事(下部工その2) ETC端末設備改修工事18-1 平成18年度県道高速名古屋新宝線港北公園工事中実施設計及び将来形基本設計業務委託 名古屋高速道路における交通安全対策検討業務委託(その2)
一般競争	1件	
随意契約	1件	
抽出案件〔建設コンサルタント業務等〕	総件数 2件	
指名競争	1件	
随意契約	1件	
委員からの意見・質問、それに対する回答等	意見・質問	回答
	別紙のとおり	別紙のとおり
委員会による意見の具申又は勧告の内容	意見の具申又は勧告はなし。	
委員会からの要望	今後公社の事業は本体工事が減少し、メンテナンスが中心になる。メンテナンスという性格上新規参入が難しい面もあるが、落札率が高止まりにならないよう研究してほしい。	

委員からの意見・質問、それに対する回答等

1) 工事

一般競争入札

抽出案件	意見・質問	回答
県道高速名古屋新宝線東海IC(西)工区下部工事及び一般国道247号橋梁整備工事(下部工その2)	他の工区より低い落札率だが、公社としてどのような監理体制を考えているか。	「土木工事共通仕様書」に基づき、検査・監督体制を強化して参ります。

随意契約

抽出案件	意見・質問	回答
ETC端末設備改修工事18-1	システムの改修の積算についてはどの程度が妥当か、第三者機関で査定する方法はないか。	改修についての審査は見積書の提出段階で公社も行っていますが、今回業務の査定をする第三者機関は見当たらず、今後の研究課題とします。
	プログラムに係る工程に関し、積算と実態を比較することで、照合することはできないか。	どこまで踏み込むことができるかという点もありますが、今後の研究課題とします。

指名競争入札

抽出案件	意見・質問	回答
平成18年度県道高速名古屋新宝線港北公園工事中実施設計及び将来形基本設計業務委託	落札率が低い、質の高い成果品ができるか。	公園設計の実績も多い会社ではありますが、施行中の各段階でのチェックを強化しております。現在まだ業務の施行中ですが、不都合な点は見られません。

随意契約

抽出案件	意見・質問	回答
名古屋高速道路における交通安全対策検討業務委託(その2)	2年間に渡る業務と聞いているが、積算はどのように行ったのか。	前年度に2ヶ年の業務として、9社による見積りも含めたプロポーザル方式で業者を選定、発注し、今年度業務についても改めて見積りを提出させ、チェックを含め積算しております。